

# 中央区内景气动向调查

平成30年10月调查结果

平成30年11月26日

中央区

## 総 括

### 平成 30 年 10 月の動き

中央区内における 10 月の現状判断 D I は合計で 50.0 と、前回調査から 1.5 ポイント上昇している。景気の先行き判断 D I は合計で 53.5 と前回調査から 1.5 ポイント低下している。

図表 景気の現状判断 D I、先行き判断 D I（合計）

( D I )	平成30年			前回調査 からの変化
	6月	8月	10月	
合計				
現状判断 D I	51.5	48.5	50.0	( 1.5 )
先行き判断 D I	50.5	55.0	53.5	( -1.5 )

## 目 次

調査の概要	1 頁
調査結果	
1 景気の現状に対する判断	2 頁
2 景気の先行きに対する判断	3 頁
3 現在の景気水準に対する判断（参考）	4 頁
4 判断理由	
(1) 景気の現状に対する判断理由着目点	5 頁
(2) 景気の現状に対する判断理由	6 頁
(3) 景気の先行きに対する判断理由	8 頁
（別紙）調査客体の分野・業種別人数構成	10 頁
中央区内景気動向調査 調査票	11 頁
(1) 家計動向関連	
(2) 企業動向関連	

## 調査の概要

### 1 調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査の客体

中央区内の家計動向関連、企業動向関連で、代表的な経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種において、適当な職種の中から選定した50人を調査客体とする。調査客体の分野・業種別人数構成については、別紙を参照のこと。

### 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) (2)の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (5) (4)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

### 4 調査月及び調査期間等

調査月は年6回の隔月に当月時点で実施、調査期間は調査月の中旬約1週間で、平成30年10月調査の調査票発送は10月5日（金）、回答期限は10月17日（水）である。

### 5 調査機関

本調査は中央区が主管し、委託先である株式会社日本経済研究所を取りまとめ調査機関として実施したものである。

### 6 有効回答率

調査客体50名に対し、有効回答客体は50名、有効回答率は100%であった。

### 7 DIの算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて、DIを算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0



## 2 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の中央区内における景気の先行き判断DIは合計で53.5と前回調査から1.5ポイント低下している。分野別にみると、家計動向関連DIは55.0と、前回調査から1.0ポイント、企業動向関連DIは52.0と、前回調査から2.0ポイント、それぞれ低下している。構成比では、「やや良くなる」と回答した人の割合が4.0ポイント減少し、「変わらない」と回答した人の割合が4.0ポイント増加した。

図表2-1 各分野における景気の先行き判断DIの推移表

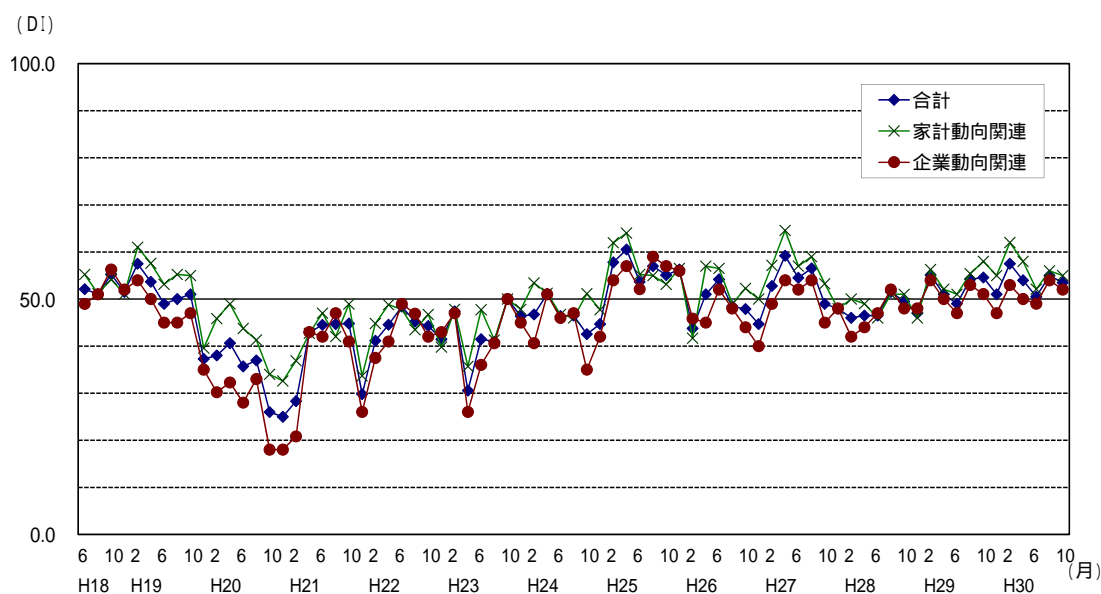
(DI)	平成30年			
	6月	8月	10月	(変化幅)
合計	50.5	55.0	53.5	(-1.5)
家計動向関連	52.1	56.0	55.0	(-1.0)
小売関連	48.1	53.6	51.8	(-1.8)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	50.0	53.6	60.7	(7.1)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	49.0	54.0	52.0	(-2.0)
製造業	50.0	50.0	50.0	(0.0)
非製造業	48.8	55.0	52.5	(-2.5)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表2-2 構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
平成30年	6	2.0%	22.4%	53.1%	20.4%	2.0%
	8	2.0%	36.0%	42.0%	20.0%	0.0%
	10	2.0%	32.0%	46.0%	18.0%	2.0%
(変化幅)		(0.0)	(-4.0)	(4.0)	(-2.0)	(2.0)

図表2-3 各分野における景気の先行き判断DIの推移



### 3 現在の景気水準に対する判断（参考）

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった（注）。

図表 3 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移

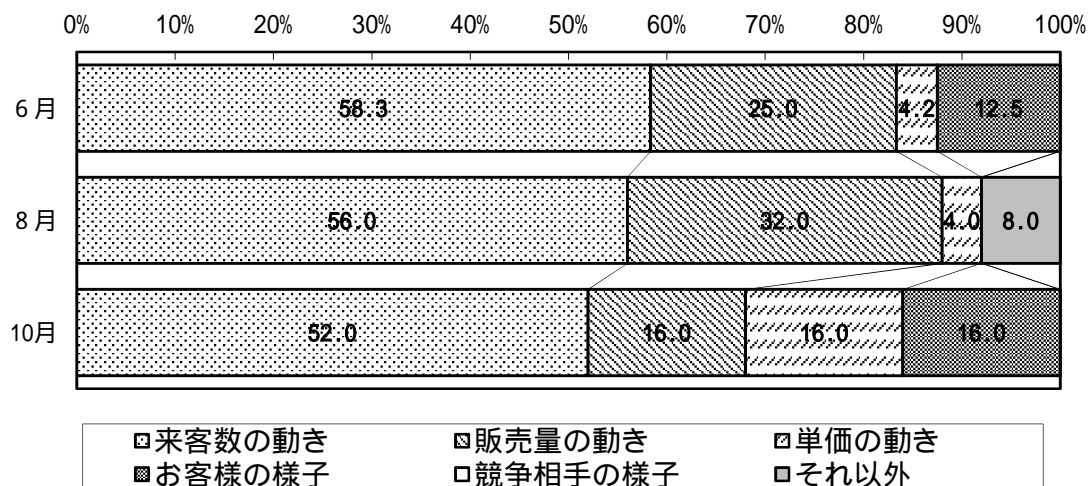
(D I)	平成30年		
	6月	8月	10月
合計	52.6	51.5	49.0
家計動向関連	56.3	47.0	47.0
小売関連	57.7	51.8	41.1
飲食関連	-	-	-
サービス関連	50.0	50.0	53.6
住宅関連	-	-	-
企業動向関連	49.0	56.0	51.0
製造業	45.0	45.0	45.0
非製造業	50.0	58.8	52.5

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

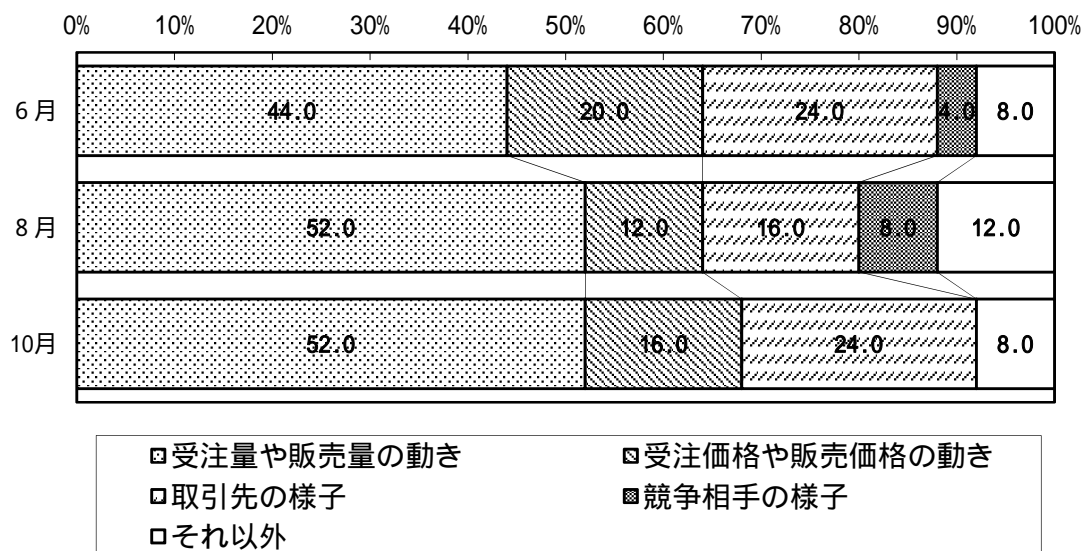
(注)景気の現状をとらえるには、景気の方加性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

## 4 (1) 景気の状態に対する判断理由着目点

### 家計動向関連



### 企業動向関連



注) 本グラフは景気の状態に対する判断理由着目点の構成比を示している。  
割合が0%の場合、数値は表記していない。



## 4 (2) 景気の現状に対する判断理由

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・猛暑の7～8月を超え、少しずつ涼しさが増している。市場の移転もありマスコミに取り上げられ、注目度が高まっている。9月は業績も順調に回復している。
	やや良くなっている	百貨店(総務担当)	来客数の動き	・地域再開発計画が進み、新店舗オープンなどにより来街者も増え、街に活気がある。免税売上も伸長している。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・猛暑の3か月前に比べるとやや良くなっていると感じるが、来客数は前年比で90%程度であり、インバウンド売上も伸び悩んでいる。
		都市型ホテル(経営者)	来客数の動き	・訪日外国人客の増加に伴い、来客数も増加している。
	変わらない	一般小売店[文具](販売担当)	お客様の様子	・台風、地震の影響で、関西だけでなく関東の客の消費マインドも冷え込んでいる。
		高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・フリー客の来店が激減している。街の特性として、ターミナルが近いことやオフィス街の要素が強いため、価格設定を高めに合わせていたが、その特性が年々薄くなっている。座敷接待は予約も入りやすいが、カウンターテーブル席は閑散とする日がある。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・市場の移転等、大きなイベントがあったが、今のところ販売数に伸びはみられない。
		その他レジャー施設(経営者)	来客数の動き	・年初より来客数が減少し始め、夏場の落込みはひどかった。秋の声を聞いたらいくらか良くなるかと期待したが、9月も10月も客足が増えることは期待できそうもない。
	やや悪くなっている	一般小売店[事務用品](営業担当)	来客数の動き	・夏過ぎから、余り客足が伸びない。例年は緩やかな上昇があるのだが、夏から余り変わっていない。
		百貨店(総務担当)	お客様の様子	・地震、台風等の災害以降、訪日外国人の買上げが鈍化している。来客数は相変わらず伸びているものの、夏以前とは内容を異にしている。
		百貨店(総務経理担当)	来客数の動き	・7月をピークに、8～9月は連続して微減している。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・来客数や競争店の動き等から判断している。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・たばこ増税後、前年比で落ち込んでおり、戻るのにしばらく時間が掛かりそうである。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・都市開発により集客が減少している。天候も安定しない。
一般レストラン(経営者)		お客様の様子	・週末の度に台風で天候が悪くなり、客が来てくれなかった。特に、観光客はほとんど来なかった。前月後半から今月は天候の影響を受けている。	
悪くなっている		-	-	-
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	不動産業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・賃料増額、空室率低下の流れが続いている。
		卸売業[機械器具](営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注していた物の納入が今月頃から始まるため、やや良い。
	変わらない	出版業(経営者)	それ以外	・大企業の業績向上と、零細企業や個人商店の低迷との格差拡大が目につく。
		出版業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・雑誌広告ページの単価が、クライアント又は広告代理店からの要請で減額傾向にある。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・全体的な売上に関しては前年同月比で増えているが、個々に見ると落ち込んでいるところもある。
通信業(営業担当)		受注量や販売量の動き	・前月と比べて大きな変化はない。	
通信業(営業担当)	取引先の様子	・概ね平行線のイメージだが、アパレル、出版業界はかなり深刻である。また、サービス業の人手不足も問題である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前と比べて、量的には非常に少なくなってきているが、現在はそれなりに動いている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・街中の人出は多いようだが、店舗での購買が伸び悩んでいるようである。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	それ以外	・人件費が高騰し、利益を圧迫している。価格競争により単価が下落している。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・時期的な発注案件は例年どおりあるが、想定以外の案件は少ない。
		その他サービス業〔造園・園芸〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注が増える時期だが、社内的に余り差を感じない。
やや悪くなっている		印刷業・製本業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同期と比べて受注量が減っている。
悪くなっている		卸売業〔繊維・衣服等〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・天災、天候の影響をととも強く受けている。

#### 4 (3) 景気の先行きに対する判断理由

( - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店[事務用品] (営業担当)	・年末に向けて多少動きがあるとみている。東京オリンピックや市場移転に絡んで少し期待したい。
		一般小売店[文具] (販売担当)	・日本経済の安定、株価の上昇、外国人客の増加によりやや良くなる。
		百貨店(総務担当)	・地域のオフィス人口、来街者の増加など、街の活気が増している。歳末商戦に期待している。
		百貨店(総務経理担当)	・今年は9～10月の天候不順が大きく影響しているが、レストランの集客は順調なので、ヒントにしたい。
		百貨店(広報担当)	・株価が高水準で推移している。インバウンド需要が底堅い。
		高級レストラン(経営者)	・例年の宴会シーズンの好況は見込み済みであり、例年同時期と比較すると期待はできない。
		高級レストラン(副店長)	・11～12月の宴会予約の動きが前年より良い。単価も悪くない。
		都市型ホテル(経営者)	・この先も訪日外国人客が来るため、従来と変わらない来客数が見込め、景気の下支えとなる。
		旅行代理店(店長)	・百貨店の新館オープンにより、人の流れが変わる可能性があるため、やや良くなる。
	変わらない	一般小売店[靴](店長)	・台風、地震の影響が続き、消費者が購買意欲をなくしている。
		百貨店(総務担当)	・婦人服等にやや弱さがみられるものの、国内客の買上げは前年並みである。訪日外国人客の買上げはやや鈍い。
		スーパー(店長)	・たばこ増税の影響は一時的なものであり、2～3か月後には戻るとみている。
		コンビニ(店長)	・9月は前年と比べて客単価、買上点数共に若干アップしているが、特に活発な購買意欲はないので、これが景気の向上によるものなのかはもう少し様子を見ないと分からない。
		衣料品専門店(店長)	・都市開発が完了するまで、集客の増加は見込めない。
一般レストラン(経営者)		・天候に左右されるので、今月よりは良くなる。週末の天候次第である。例年より修学旅行生も多く来てくれるし、イベント、キャンペーンもいろいろあるので、これから良くなる。	
通信会社(営業担当)		・東京オリンピックを控え、東京全体の景気は徐々に良くなっていくと思うが、今後2～3か月程度では、変化はみられない。	
やや悪くなる	一般小売店[食品](店長)	・最近ロスもなく好調な売行きだったが、市場の移転により車や人の流れが変化する。また、来年の消費税再増税の表明で節約ムードになるのではと懸念している。	
	スーパー(店長)	・IT関係以外に上向きそうな理由が見つからない。	
	一般レストラン(経営者)	・市場の移転に伴い、来客数が減少する。特に、市場に買い出しに来るプロは移転先に行くと思われる。観光客はそれほど減少するとは思っていないが、先行きの見通しは非常に厳しい。	
悪くなる	その他レジャー施設(経営者)	・7～8月は来客数が悪く、前年の半分程度であった。9～10月も客足が戻る見込みが立たず、年末にかけても期待できそうにない。	
	一般小売店[和菓子](経営者)	・株価下落と消費税の再増税により、物として残る物が売れ、食べ物など形の残らない物は売れなくなるのではないかと。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		輸送業(従業員)	・前年に比べて受注量が増えているため、全体的な売上も増えていく。
		不動産業(企画担当)	・オフィステナントからの館内増床ニーズは旺盛である。
		卸売業[繊維・衣服等](営業担当)	・大きな災害がなければ、ここまで悪くなることはない。10月上旬は悪くない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		卸売業〔機械器具〕 (営業担当)	・受注済み案件の納入が2～3か月続いため、安定している。
		経営コンサルタント	・年末に向けて人出がより多くなると予想している。各店舗で、クリスマスなども含めて装飾が増え、にぎわいを見せる。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(営業担当)	・12月末が期限となっている案件が多々ある。種まきをしてきた案件を受注できれば、やや良くなる。
	変わらない	出版業(経営者)	・大きな景気変動の要素が見当たらない。
	変わらない	印刷業・製本業(経営者)	・好材料が見当たらない。
	変わらない	建設業(経営者)	・今年一杯は現状のまま推移していく。
	変わらない	建設業(営業担当)	・手持ちの工事量があり、受注が減少しても、特に変わらない。
	変わらない	建設業(経営者)	・変化する状況が見当たらない。
	変わらない	通信業(営業担当)	・中期的には、当面は変わらないとの印象だが、長期的には、明るい話は聞かれない。
	変わらない	金融業〔証券〕(営業担当)	・いわゆる「人手不足」が幅広い業種で見られる割には、企業決算上の人件費は上昇しておらず、賃金面が改善されていない状況である。こうしたなか、米中貿易摩擦やシリア問題による製品、商品ならびに原油価格の上昇プレッシャーがそろそろ顕在化するとの予想から、中立の判断としている。
	変わらない	金融業〔証券〕(営業担当)	・米中間選挙が終わるまでは様子見の雰囲気強いように感じる。
	変わらない	卸売業〔飲食料品(鮮魚)〕(経営者)	・飽和状態のため、変わらない。
	変わらない	卸売業〔機械器具〕(経営者)	・現在の動きが通常となってきたものと考えている。
	変わらない	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(営業担当)	・最低賃金の改定により賃金が上昇しているものの、契約料金改定の交渉は難航している。
	変わらない	その他サービス業〔造園・園芸〕(営業担当)	・現状、客の動向に変化を感じない。受注案件、内容ともに予定より動きが鈍い。
	やや悪くなる	出版業(営業担当)	・年末を迎えるが、景気が良くなる動きは全く感じられない。人手不足も深刻だが、金額的に折り合いがつかず、仕事もうまく回っていない。
	やや悪くなる	建設業(営業担当)	・人手不足により受注量が伸び悩んでいる。
	やや悪くなる	通信業(営業担当)	・米国の動向や中国の対応等で不安定さが拡大している。
	やや悪くなる	卸売業〔機械器具〕(従業員)	・受注はほぼ計画どおり推移しているが、想定を超えるコスト増により、採算が悪化している。この状況は当面続くと思われるので、懸念している。
	悪くなる	-	-

(別紙) 調査客体の分野・業種別人数構成

分野	業種	調査客体数 (人)
合計		50
家計動向関連		25
	小売関連	14
	商店街・一般小売店	5
	商店街代表者	0
	一般小売店経営者・店員	5
	百貨店	4
	百貨店売場主任・担当者	4
	スーパー	2
	スーパー店長・店員	2
	コンビニエンスストア	1
	コンビニエリア担当・店長	1
	衣料品専門店	2
	衣料品専門店経営者・店員	2
	家電量販店	0
	家電量販店経営者・店員	0
	乗用車・自動車備品販売店	0
	乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	0
	その他小売店	0
	住関連専門店経営者・店員	0
	その他専門店経営者・店員	0
	その他小売の動向を把握できる者	0
	飲食関連	4
	高級レストラン経営者・スタッフ	2
	一般レストラン経営者・スタッフ	2
	スナック経営者	0
	その他飲食の動向を把握できる者	0
	サービス関連	7
	旅行・交通関連	3
	観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0
	都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	2
	旅行代理店経営者・従業員	1
	タクシー運転手	0
	通信会社	2
	通信会社社員	2
	レジャー施設関連	2
	観光名所・遊園地・テーマパーク職員	0
	ゴルフ場経営者・従業員	0
	パチンコ店経営者・従業員	0
	競輪・競馬・競艇場職員	1
	その他レジャー施設職員	1
	その他サービス	0
	美容室経営者・従業員	0
	その他サービスの動向を把握できる者	0
	住宅関連	0
	設計事務所所長・職員	0
	住宅販売会社経営者・従業員	0
	その他住宅投資の動向を把握できる者	0
	その他家計の動向を把握できる者	0
企業動向関連		25
	農林水産業従業者	0
	鉱業経営者・従業員	0
	製造業経営者・従業員	5
	食品製造業	0
	繊維工業	0
	家具及び木材木製品製造業	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
	出版・印刷・同関連産業	5
	新聞業	1
	出版業	2
	印刷業・製本業	2
	その他出版・印刷・同関連産業	0
	化学工業	0
	石油製品・石炭製品製造業	0
	プラスチック製品製造業	0
	窯業・土石製品製造業	0
	鉄鋼業	0
	非鉄金属製造業	0
	金属製品製造業	0
	一般機械器具製造業	0
	電気機械器具製造業(精密機械を含む)	0
	輸送用機械器具製造業	0
	その他製造業	0
	非製造業経営者・従業員	20
	建設業	4
	輸送業	1
	通信業	2
	金融業	2
	不動産業	1
	卸売業	6
	繊維・衣服等	2
	飲食品	1
	建築材料・鉱物・金属材料等	0
	機械器具	3
	その他卸売業	0
	サービス業	4
	広告代理店・新聞販売店[広告]	0
	司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	1
	コピーサービス業	0
	その他サービス業	3
	その他非製造業	0
	その他企業の動向を把握できる者	0